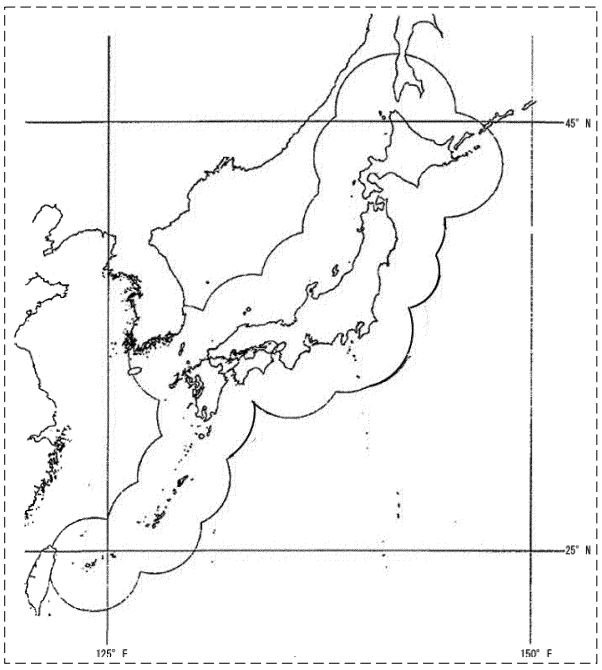
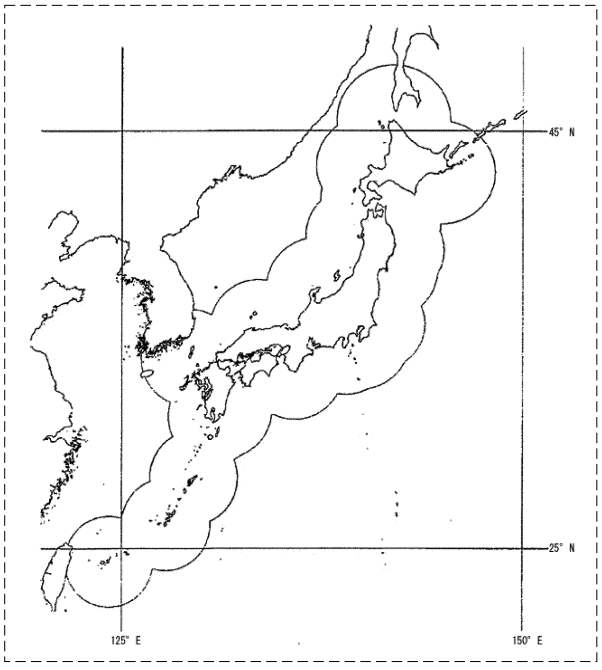
○総務省告示第二百十七号

電波法施行規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十四号）第二十八条第一項第二号の規定に基づき、平成十五年総務省告示第二百十三号（Ｆ一Ｂ電波二、一八七・五kHzによる遭難通信を行うことができる海岸局の通信圏を定める件）の一部を次のように改正し、令和八年七月一日から施行する。

令和八年六月十日

総務大臣　林　芳正

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように改める。

改正後	改正前
一　北緯四五度三〇分五二秒東経一四一度五六分六秒、北緯四三度九秒東経一四四度五二分四三秒、北緯四三度一九分四九秒東経一四〇度三一分二三秒、北緯四〇度二九分三二秒東経一四一度三六分三九秒、北緯三八度一八分四〇秒東経一四一度三一分三五秒、北緯四〇度一七秒東経一三九度四二分七秒、北緯三四度五六分四一秒東経一三九度五五分一九秒、北緯三七度二八分二六秒東経一三七度七分五八秒、北緯三四度四〇分一二秒東経一三八度五六分五五秒、北緯三四度二七分三〇秒東経一三六度四八分二三秒、北緯三三度二六分三四秒東経一三五度四七分三秒、北緯三五度三一分二一秒東経一三三度三二分一〇秒、北緯三四度八分一四秒東経一二九度一二分一九秒、北緯三一度一八分五一秒東経一三〇度四八分五二秒、北緯二八度二一分一二秒東経一二九度一二分一九秒、北緯二六度九分二五秒東経一二七度四五分三五秒及び北緯二四度二二分一〇秒東経一二四度一二分五二秒の各地点からそれぞれ一五〇海里までの海域から構成される海域 二　前項の海域については、次の略図を参照すること。 	一　北緯四五度三〇分五二秒東経一四一度五六分六秒、北緯四三度九秒東経一四四度五二分四三秒、北緯四三度一九分四九秒東経一四〇度三一分二三秒、北緯四一度四四分四七秒東経一四〇度四二分三七秒、北緯四〇度二九分三二秒東経一四一度三六分三九秒、北緯三九度一六分二五秒東経一四一度五三分二〇秒、北緯三八度一八分四〇秒東経一四一度三一分三五秒、北緯四〇度一七秒東経一三九度四二分七秒、北緯三五度四四分二四秒東経一四〇度五一分二七秒、北緯三四度五六分四一秒東経一三九度五五分一九秒、北緯三七度二八分二六秒東経一三七度七分五八秒、北緯三四度四〇分一二秒東経一三八度五六分五五秒、北緯三四度二七分三〇秒東経一三六度四八分二三秒、北緯三三度二六分三四秒東経一三五度四七分三秒、北緯三五度三一分二一秒東経一三三度三二分一〇秒、北緯三四度八分一四秒東経一二九度一二分一九秒、北緯三一度一八分五一秒東経一三〇度四八分五二秒、北緯二八度二一分一二秒東経一二九度一二分一九秒、北緯二六度九分二五秒東経一二七度四五分三五秒及び北緯二四度二二分一〇秒東経一二四度一二分五二秒の各地点からそれぞれ一五〇海里までの海域から構成される海域。 二　［同上］ 

備考　表中の［　］の記載は注記である。